

ME/CFS 患者を対象とした

脳内ミクログリア活性化（神経炎症）を調べる PET 検査の被験者募集！！

脳内で炎症がおきると、脳内免疫防御を担っているミクログリア細胞が活性化し、末梢性ベンゾジアゼピン受容体と呼ばれる分子を発現することが明らかとなり、ポジトロン断層撮影（Positron Emission Tomography : PET）を用いて活性型ミクログリアの有無を検査することにより、脳内神経炎症の存在を直接調べるのが可能となってきました。

我々は、ME/CFS 患者 9 名と健常者 10 名を対象として、PET 検査を実施しましたところ、ME/CFS 患者では左視床、中脳、橋においてミクログリアの活性化（神経炎症）がみられ、神経炎症の程度と臨床病態には関連があることを見出しました¹⁾。神経炎症が明らかになった患者さんの頭部 CT 検査や MRI 検査では異常はみられておらず、通常の保険診療では異常がみられないと判断されている場合でも、脳内の神経炎症が存在している可能性が考えられます。

そこで、大阪市立大学医学部と理化学研究所の研究グループは、平成 29 年 10 月より ME/CFS 患者 100 名を対象とした脳・神経炎症の有無を調べる臨床研究（PET 検査）を開始致しました。この検査は、平成 28 年 11 月に採択された、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）「創薬基盤推進研究事業」「ポジトロン CT で脳内炎症が確認された患者に対するミクログリア活性化抑制薬の有効性検証」（代表研究者：渡辺恭良）のもとで行われるものですので、特別な検査費用などはかかりません。

現在、PET 検査の被験者を広く募集致しておりますので、PET 検査をご希望される患者さんは、主治医の先生とご相談いただき、主治医の先生より下記ナカトミファティীগケアクリニックにご連絡頂きますよう、お願い致します。PET 検査までの流れなどは、下記ホームページにてわかりやすく紹介致しておりますので、ご参照ください。

AMED「ポジトロン CT で脳内炎症が確認された患者に対するミクログリア活性化抑制薬の有効性検証」研究班 分担研究者 倉恒弘彦

申し込み先：ナカトミファティীগケアクリニック、下記「紹介書類一式」を提出

ホームページ <http://tukare.jp/subject-recruitment/>（必要書類、PET 検査までの流れを記載）

TEL: 06-6233-6136, FAX: 06-6233-6137, Mail: info@tukare.jp

（受付時間 10:30-14:00、16:00-20:00（月、火、水、金））

尚、今回の PET 検査を用いた臨床研究への参加は下記条件を満たす必要があります。

- 研究参加は医療機関（主治医の先生）を通じての紹介に限らせて頂きます。上記ホームページに掲載しています紹介書類一式（研究参加用診察申込書、臨床研究参加条件確認書、問診票）を FAX か mail にてお送りください。
- 重症度は PS 値が 5 以上（ホームページ参照）の方を対象とし、特に ME/CFS 発症から 5 年以内の方を優先的に PET による脳内神経炎症病態などを観察します。
- 主治医の先生には、日本の ME/CFS 診断基準、CDC 診断基準（米国）、カナダ ME/CFS 診断基準をチェックして頂いています。すべての診断基準を満たす必要がありますのでご注意ください（すべての診断基準チェック項目は、臨床研究参加条件確認書の中にあります）
- ご紹介頂いた後に、紹介書類一式のチェックが終了しました患者さんにつきましては、ナカトミファティীগケアクリニックの診察予約を取らせて頂きます。診察時には、医師が PET 検査エントリーシートをチェックさせて頂き、研究計画書に基づく最終判断を致します。エントリーシートの判定結果によりましては、参加できないこともありますのでご了承ください。

1. http://www.riken.jp/pr/press/2014/20140404_1/ 報道発表資料 慢性疲労症候群と脳内炎症の関連を解明 理化学研究所